

p4 admin end-journalについて

説明

Perforce Helix Core 2019.1では新しく "p4 admin end-journal" コマンドが追加されました。

このコマンドはフェイルオーバー前に、フェイルオーバーに使用するジャーナル番号とオフセットを指定するために使用します。

"p4 admin end-journal" コマンドを実行すると、以下の時点でジャーナル情報をスタンバイサーバの"stateLEOF"ファイルへ記録します。

※"stateLEOF"はフェイルオーバー機能に関連して作成される新しいファイルの一つです。

- ・フェイルオーバーにマスターサーバが参加する場合：ジャーナルファイルの複製
- ・フェイルオーバーにマスターサーバが参加しない場合：整合が取れているジャーナル番号とオフセット

マスターサーバを参照しているレプリカサーバやエッジサーバは、"p4 admin end-journal"コマンド実行後、マスターサーバからのジャーナル読み込みを行わなくなります。

この後にスタンバイサーバへのフェイルオーバーを実行することで、"p4 admin end-journal"コマンド実行時点のジャーナル番号とオフセットの状態
で、フェイルオーバーを実施することができます。



参照ページ

- ・ [「Helix Core P4コマンドリファレンス \(2019.1\)」 - p4 admin](#)

手順

スタンバイサーバでコマンドを実行します

実行例：スタンバイサーバで実施

```
p4 admin end-journal
```

実行結果例

```
... journal 4  
... offset 9506
```

この後フェイルオーバーを実行すると"journal 4"・"offset 9506"の状態となります。